



南部地域・東部地域の振興

頻繁に訪れてもらえる、住み続けられる 地域づくり

主担当部局：南部東部振興監



南部地域・東部地域の「食」を通じた交流イベント(奥大和移住定住交流センター「engawa」)

目指す姿

魅力的な観光資源づくりや、情報発信の強化、多様なイベントの開催、仕事の確保や医療・福祉、教育等の充実、災害への備え等を進め、南部地域・東部地域を「頻繁に訪れてもらえる、住み続けられる」地域にします。

目標

平成32年までに、南部地域・東部地域の
交流人口(観光入込客数)を

830万人 
にすることを目指します。

(平成25年:666万人)

平成32年までに、南部地域・東部地域の
交流人口(延べ宿泊者数)を

70万人 
にすることを目指します。

(平成25年:63万人)

平成32年までに、南部地域・東部地域の
人口の社会増減を

プラス
にすることを目指します。

(平成26年:約マイナス1,600人)

自分の住んでいる
地域の活気や魅力に対する満足度を

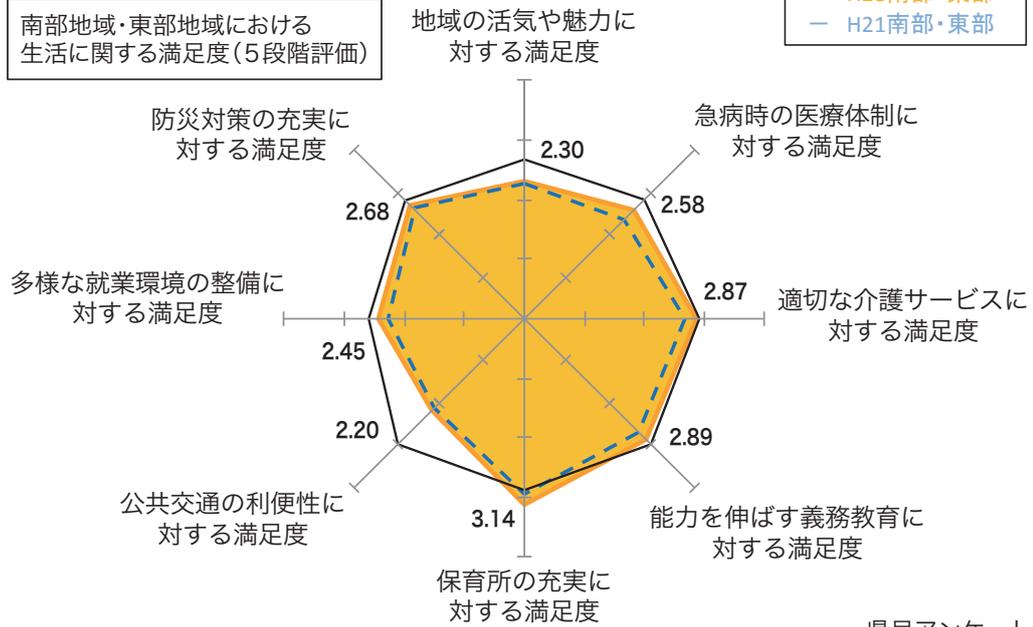
高め ます。

(平成28年度県民アンケート調査(5段階評価)
南東部地域2.26、南西部地域2.22、
東部地域2.41、県全体2.69)

分析

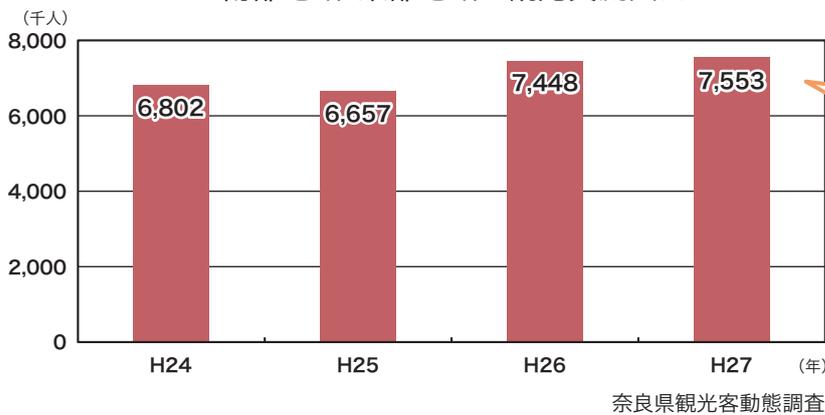
●主な指標

南部地域・東部地域における生活に関する満足度(5段階評価)



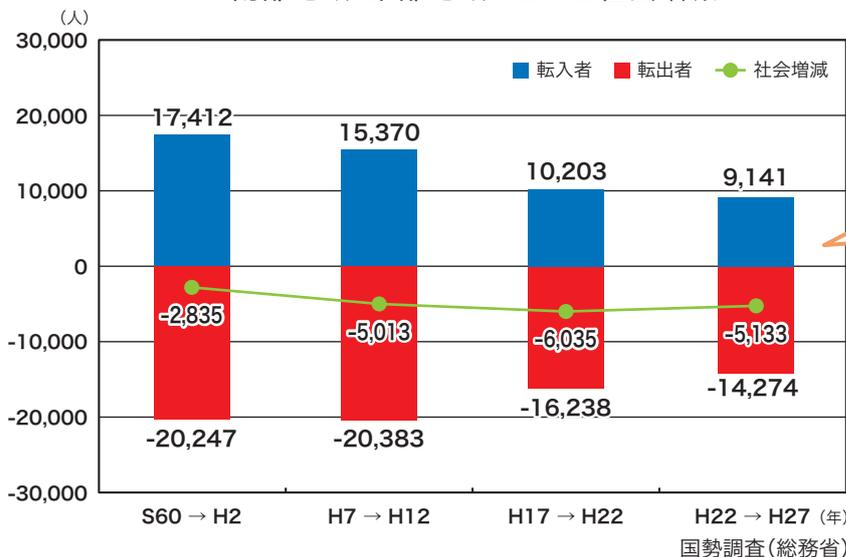
県民アンケート調査

南部地域・東部地域の観光交流人口



南部地域・東部地域の観光交流人口は増加傾向です。

南部地域・東部地域における社会増減



「転出超過」の状態が続いていますが、社会増減はやや上向きしました。

戦略 1

南部地域・東部地域での交流を促進します。

主担当課：地域振興部 南部東部振興課、奥大和移住・交流推進室

戦略目標

- ▶ 特色ある観光基盤の整備を推進し、**南部地域・東部地域の魅力を向上**させます。
- ▶ 観光客数を増やすとともに南部地域・東部地域のファンを増やすため、**情報発信を強化**します。
(平成29年度までに、**移住ホームページ「奈良に暮らす」アクセス数を550,000件**にします。(平成26年度:492,453件))
- ▶ 観光客数を増やすため、**オフシーズンのイベント開催や、おもてなしの向上等**を進めます。(平成32年度までに、**新たなイベントに対する支援を20件**にします。(平成28年度支援を開始))

取組

項目	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
観光資源となる地域資源の発見と創出				
特色ある食と宿泊施設等の整備推進 ・地域の食と農を活かした「ぐるっとオーベルジュ」の整備とネットワーク化	基本計画の策定支援	整備推進・ネットワーク化		
美しい景観づくり ・「なら四季彩の庭」づくりの推進	植栽の整備・維持管理			
地域資源を活用した魅力づくり ・歴史・文化資源を活用した魅力づくり	飛鳥京跡苑地の公有化、遺構整備、飛鳥宮跡の利活用の推進			
・地域交流施設の活用	うだ・アニマルパークにおける各種体験イベントの開催			
多様なスポーツ施設の整備 ・広域的な自転車利用ネットワークの整備	京奈和自転車道の整備推進			
南部地域・東部地域の魅力を多くの人に知ってもらうための情報発信				
情報発信の強化 ・雑誌、Web、映像等による情報発信	様々な媒体等による情報発信			
・首都圏での情報発信	奈良まほろば館、主要駅等での奈良の魅力を効果的な情報発信			
・外国人観光客への情報発信	外国人観光客交流拠点等での情報発信			
実際に南部地域・東部地域を訪れてもらうための仕掛けづくり				
スポーツイベントの開催 ・「Kobo Trail～弘法大師の道～」の開催支援	「弘法大師の道」を活用したトレイルランニングレースの開催支援			
・アウトドアチャレンジレースの開催支援	開催支援			
・サイクルスポーツイベントの開催支援	開催支援			
音楽・芸術イベントの開催 ・音楽フェスティバルイベントの開催	開催支援			
・アーティストインレジデンスの開催支援	開催支援			

取組

項目	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
地域資源を活用したイベントの開催				
・県・市町村等共同開催イベントの実施	開催支援			
・地域の特色を活かしたイベント支援	地域の特色を活かしたイベントへの支援			
交通アクセスの支援				
・観光振興に資する道路設備の推進	観光地へのアクセス性の向上			
おもてなし力の向上				
・地域のおもてなし力向上支援	地域のおもてなし力向上への支援			
誘客促進の仕掛けづくり	雑誌等と連携した誘客促進の取組			



えんがわ音楽祭in洞川(天川村)



「御所実業ラグビーフェスティバル」参加者へのおもてなし支援
(御所市民運動公園)



アウトドアチャレンジレース(上北山村、川上村)



奥大和ゆうゆう祭(吉野町)

戦略 2

南部地域・東部地域での定住を促進します。

主担当課：地域振興部 南部東部振興課、奥大和移住・交流推進室

戦略目標

- ▶ 働く場所を増やすため、**農林業の振興**や**企業誘致等**を進めます。
- ▶ 健康・医療・福祉・介護の充実等を進め、**地域で「住みたい」「住みやすい」と思う人の割合を増やします。**
- ▶ 災害による死者をなくす・人命を守ることを最大の目標に、**できる限り被害を減少**させます。
- ▶ 南部地域・東部地域への**二地域居住・移住者**を増加させます。
 (平成32年度までに、**地域受入協議会に対する支援**を30件にします。(平成27年度:4件))
 (平成32年度までに、二地域居住や移住を促進するための**拠点施設整備への支援**を25件にします。(平成26年度:2件))

取組

項目	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
働く場所づくり				
農作物等のブランド化・生産拡大の推進	柿老木園の更新・新規加工品開発、首都圏PR、輸出拡大・定着支援			
	高級かぶせ茶・てん茶の生産支援、リーフ茶消費促進			
	柿等で品質によるブランド認証制度の運用			
「全ての材を出して使う」林業・木材産業の推進				
・全ての材を搬出し多用途に供給するカスケード利用への転換	奈良型作業道開設・林業機械導入等への支援			
	全ての材の搬出・運搬に対して支援			
	儲かる施業予定森林を掘り起こし、森林所有者と素材生産業者とをマッチング			
	森林情報の精度向上			
・全ての材の受け皿の確保と県産材製品の安定流通の実現	県営林、市町村有林の施業の拡大			
	木材産業の競争力強化のための取組実現			
漢方のメッカ推進プロジェクト	漢方の6次産業化に向けた具体的取組の検討・実施			
企業誘致の推進、地域の産業興し				
・中南和振興のための産業集積地形成	測量、設計、用地買収、造成等			
・南部地域・東部地域への企業立地の促進	補助金加算による企業誘致の強化			
暮らしやすい地域づくり				
健康、医療、福祉、介護の充実				
・ドクターヘリの導入	導入に向けた準備	ドクターヘリの運航		
・へき地を支える医師の確保	自治医科大学卒業医師等の配置			
・南和地域の医療提供体制の充実	●開院	南奈良総合医療センターと吉野病院の併用		
	●開院	●開院	併用	
・市町村の地域包括ケアシステム構築支援	モデル市町村を補助金、ノウハウ提供等により支援		モデル市町村の取組を他市町村へ普及	
教育の充実、子育ての支援				
・県立高校の特色化、活性化	全国募集の実施と環境整備			
・へき地教育の充実	教員確保、指導の充実			
・遠距離通学の支援	町村の遠距離児童生徒通学費支援事業に対する補助			
・職業教育等の充実	備品等の整備			
・子育て応援の県民運動の展開	子育て応援イベント開催			

取組

項目	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
買い物等の支援、移動手段の確保				
・公共交通ネットワークの確保		関係市町村・交通事業者等との協議、施策の推進		
		連携協定に基づく奈良交通(株)との協議、施策の推進		
文化の振興、集落の維持・活性化				
・地域の伝統文化の継承		次世代の育成と発表の場づくり		
・新しい集落づくり		市町村への支援		
災害に強いインフラの整備				
インフラ整備と災害への備え				
・紀伊半島アンカールート等の災害に強い道路設備の推進		国道168号[五條新宮道路]及び国道169号の整備推進		
・道路防災対策の推進	● 国道169号伯母峯峠道路新規事業化(直轄権限代行)		● 国道168号辻堂バイパスの供用	
・土砂災害対策の推進		対策の推進		
・山地災害の予防及び復旧		緊急度、重要度の高い箇所を優先し、治山事業を早期に実施		
・河川の整備		紀の川の河川改修の実施		
・緊急時の情報通信ネットワーク確保	バックアップ回線の整備		バックアップ回線の再整備・運用	
・地震に強い地域づくり		既存木造住宅の耐震化の促進		
・被災したインフラの復旧		完全復旧の推進		
・緊急時に備えたエネルギーシステムの構築		導入支援		
防災力向上と紀伊半島大水害の次世代への継承				
・陸上自衛隊のヘリポートを併設した駐屯地の誘致		政府要望実施、気運醸成、防衛省が行う調査への協力		
・広域防災拠点の整備		関係機関との調整、候補地調査、基本設計		
・市町村防災対策への支援		継続的な支援		
・自主防災団体の組織化・活性化の支援		アドバイザー派遣、県政出前トーク、防災訓練支援		
移住の推進				
二地域居住・移住を受け入れる仕組みと拠点の整備				
・体験プログラム等の実施		相談窓口の整備、移住体験プログラムの実施		
・受入体制の整備		移住・二地域居住希望者の受入体制の整備		
・拠点施設の整備支援		モデルプラン作成		
		施設整備・運営を支援		
・移住・定住促進に向けた魅力ある仕事づくりのための支援		先駆的プロジェクトの創出・推進、起業の促進、既存事業の需要拡大		
・農家民宿への支援		開業支援、情報発信		
・ふるさと創生協力隊の配置		配置・活動支援		



古民家DIY体験(宇陀市)



移住セミナー(大阪市)

これまでの成果

★ 南部地域・東部地域の特色を活かした様々なイベントを開催し、多数の来場者がありました。

- 「Kobo Trail 2016」(平成28年5月) 199人
- 「アウトドアチャレンジレース」(平成28年5月) 332人
- 「山岳グランfondin吉野」「ヒルクライム大台ヶ原since2001」「ツアー・オブ・奈良・まほろば」(平成28年7月から9月) 延べ1,764人
- 「奥大和ゆうゆう祭」(平成28年10月) 約3,600人
- 「南和スポーツフェスタ2016」(平成28年10月) 約1,000人

● 奈良県景観計画に基づき、立ち入り利用林(ふれあい)・眺望活用林(ながめる)の整備を平成24年度からの累計22箇所実施しました。

● 平成26年度から飛鳥京跡苑池のメインエントランス部の整備を開始し、平成28年4月から供用を開始しました。

★ HOUSE VISION(東京)へ平成28年7月から8月に参加し、会場メインテント内に奈良の木約1,500本を使用したモニュメントを展示したほか、会場では、県職員や木材業界関係者が参加企業や来場者に奈良の木を売り込みました。

● 地域包括ケアシステムの構築を推進するため、川上村の全体構想策定、五條市、山添村、吉野町、大淀町、下市町の介護予防充実に支援しました。

● 御杖村において、平成28年8月に空き家を活用した定住促進住宅1棟、黒滝村において、10月に定住促進住宅(公営住宅)1棟を整備しました。また、川上村において、若者単身者向けのシェアハウス「人知のいえ」を4月にオープンしました。

主な指標の動き

● よくなっている指標

急病時の医療体制に対する満足度

2.34
(平成21年度)



2.58
(平成28年度)

地域医療提供体制の整備が進みつつあること等から、南西部地域、南東部地域、東部地域の全ての地域で満足度が上がりました。

能力を伸ばす義務教育に対する満足度

2.70
(平成21年度)



2.89
(平成28年度)

学習意欲の向上を図る取組等により、南西部地域、南東部地域、東部地域の全ての地域で満足度が上がりました。

適切な介護サービスに対する満足度

2.69
(平成21年度)



2.87
(平成28年度)

地域で暮らし続けるための仕組みづくりを進めていること等により、南西部地域、南東部地域、東部地域の全ての地域で満足度が上がりました。

多様な就業環境の整備に対する満足度

2.28
(平成21年度)



2.45
(平成28年度)

雇用の掘り起こしとマッチング支援や女性・高齢者の就業支援により、南西部地域、南東部地域、東部地域の全ての地域で満足度が上がりました。



Kobo Trail 2016(天川村)



アートウィークin菟田野2016(宇陀市)



大和高原の魅力ある仕事づくり連携協定締結式



オフィスキャンプ東吉野(東吉野村)